科目名 (Eng)	言語コミュニケーション(Verbal Communication)
担当教員	松江 俊一

対象学年等	学科・専攻	学年	授業期間	区分	単位数	時間数	分野	形態	学修単位科目
	コミュニケーション情報学科	3	前期	必修	1	(30)	専門	B	

目標基準との対応	
	福島高専の教育目標との対応：(B-4). (F-1).
	卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：6).
	JABEE基準1(1)との対応：

授業の概要と方針	ことばによるコミュニケーションのさまざまな事象を歴史的に概観する。あわせてことばが人間の社会行動とどのようにかかわり合っているか等の問題を構造的に捕らえる目を養う。
到達目標	①古代・中世・近現代の歴史と言語文化の関係を把握する。 ②現代日本人のエスニシティを認識する。

授業計画

	週	授業項目	理解すべき内容	事前学習
前期	1	ことばと文化	ことばの構造、文化の構造、文字と言語の関係１	
	2	ことばと文化	ことばの構造、文化の構造、文字と言語の関係２	
	3	古代･中世の言霊思想と文化(1)	古事記	
	4	古代･中世の言霊思想と文化(2)	日本人の怨霊思想について	
	5	古代･中世の言霊思想と文化(3)	聖徳太子の「和」、東大寺の大仏の建立	
	6	古代･中世の言霊思想と文化(4)	万葉集、古今和歌集、土佐日記、源氏物語	
	7	古代･中世の言霊思想と文化(5)	前期前半総合復習	課題図書を授業日前に読了して授業に臨むこと。
	8	江戸期の言語文化（１）	江戸の博物学	
	9	江戸期の言語文化（１）	蘭学・国学の隆盛	授業メモをもとに復習を怠らないこと。
	10	幕末・明治の言語文化(1)	外国語の日本語翻訳	
	11	幕末・明治の言語文化(2)	福沢諭吉、西周、正岡子規、夏目漱石	
	12	幕末・明治の言語文化(3)	韓国の言語事情と日本語との比較	
	13	現代日本の言語文化(1)	日本人の名前の特徴	
	14	現代日本の言語文化(2)	言葉の言い換え、差別用語	
	15	前期学習したことの総括	前期期末試験解答用紙の返却と解説	

試験について	中間試験は共通科目試験日に５０分間の試験を実施する。期末試験は５０分の試験を実施する。 再試験受験の条件：全ての課題を所定の日時までに提出してあること。
評価方法	定期試験50%，授業メモ、課題等50%で評価する。
教科書	配布資料
参考書	『閉ざされた言語日本語の世界』鈴木孝夫著、新潮社　／　『日本語はいかにつくられたか』小池清治著、筑摩書房　／　『古事記』　その他講義中に指示する。
関連科目	日本語特論、人間科学特講
履修上の注意	文化は人間の精神活動の結果であり、その中心に言語がある。これまでに学んできたあらゆる知識を言語を中心に再構築してみよう。